

対象年度		令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート					
事務事業名		消防団活動事業						予算事業名		消防団活動経費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防組織法 消防法			
				09	01	02	0502	経常経費					
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業			
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)											
		④消防・救急体制の強化						担当課係等		防災安全課			
2消防団の活性化と団員確保													
事業期間		継続 (平成27年度～令和 4年度)											
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
消防団活動に要する装備品などを充実させることにより、消防団の処遇などの活動環境の改善を図る。								消防団員の安全性を守るための装備基準が見直されたことにより、消防団の処遇などの活動環境の改善を図る。					
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】					
消防団活動に関する装備品の充実、費用弁償、各種報償制度の実施、関連団体への負担金の支払等。 火災時における重機借上料 鬼怒川沿川の消防団員(3, 910分団)へ救命胴衣の配布(H29に各分団5個配布済)								結城市消防団員					
								【事業をとりまく環境の変化】 消防団員の装備基準が改正されたことにより、既存の装備品から新たな物に更新しなくてはならなくなった。					
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
装備品の購入(補充等) 分団にエンジンカッター、チェーンソーの 配備 3, 9, 10分団へ救命胴衣の配布				装備品の購入(補充等)				装備品の購入(補充等)					

■事業費			H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国	庫 支 出 金	0	0			
	県	支 出 金	0	0			
	地	方 債	0	0			
	そ	の 他	0	0			
	一	般 財 源	27,828	28,070			
歳 入 計 (千 円)			27,828	28,070			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千 円)	金額 (千 円)			
	08	報償費	351	416			
	09	旅費	13,233	13,242			
	10	交際費	105	100			
	11	需用費	4,846	5,343			
	12	役務費	679	760			
	14	使用料及び賃借料	153	165			
	16	原材料費	0	18			
	18	備品購入費	299	0			
	19	負担金補助及び交付金	7,842	7,847			
	27	公課費	320	179			
歳 出 計 (千 円) (A)			27,828	28,070			
伸 び 率 (%)				0.86			
備 考	総合計画 84 ページ 予算書 150 ページ						

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	費用弁償（水・火災出動）	件	目標	20.00	20.00	2.00
	消防団が水・火災出動件数		実績	44.00	0.00	0.00
	費用弁償（訓練・啓発活動等）	件	目標	250.00	250.00	250.00
	消防団が訓練、火災予防等の活動した件数		実績	185.00	0.00	0.00
成果 指標	消防団員数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	結城市消防団本部、第1分団から第10分団、女性分団の総数		実績	269.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	地域における消防団の果たす役割は非常に大きい。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	
	手段の妥当性	A 妥当である	
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	消防団の負担を減らすべく、出動に関しては常備消防との連携を図っているため、費用弁償の抑制が図られている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	装備品に関しては、まだ十分ではない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
装備品の購入に関して、財源の確保が厳しくなる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
装備品の購入計画に沿った購入に努める。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ・消防団活動に不可欠な装備の充実、環境整備は事業継続と財源確保に努める。 ・重機借上料を新設する（要請あり）	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	